

# SYS`GPS 取扱説明書



syrider®



**SYS`GPS**



(株) スポーツオーパカイト

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-24 (TEL) 03-3291-0802

〒315-0101 茨城県石岡市大増 1900 (TEL) 0299-44-3642

## はじめに

Syrideのコミュニティーへようこそ！

SYS'Gpsは、最新の技術を駆使した軽量な計器で、自分自身を向上させ、その向上を監視することができます。

また、ユニークで詳細なオンラインフライトブックを作成することができます。

SYS'Gpsであなたのフライト練習は、新たな次元に突入します！

コミュニティーメンバーとして、あなたは機器の進化と継続的な改良のための重要なプレーヤーとなります。

SYS'Gps内部のセンサーは、将来の機能の開発を可能にします。

また、お客様の満足度を高めるために、ご提案があれば是非お寄せください。

Syride社は、あなたの美しいフライトを願っています。

## 目次

I.	SYS PC ツール のセットアップ .....	24
II.	インストゥルメントの配置 .....	25
III.	バッテリーの充電使用 .....	26
IV.	デバイスの設定方法 .....	27
V.	高度な詳細設定方法 .....	29
VI.	画面やバリオサウンドをカスタマイズする .....	29
VII.	対地高度表示の準備 .....	31
VIII.	フライト中の画面 .....	32
IX.	GPSの状態についての情報 .....	33
X.	記録したフライトの表示と削除 .....	34
XI.	警告とリセット .....	35
XII.	フライト記録の転送 .....	36
XIII.	パラメータについて .....	39
XIV.	使用上の注意点 .....	40

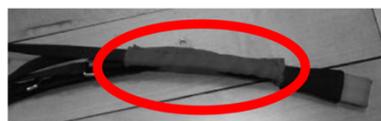
## I. SYS PCツールのセットアップ

1. SYS PCツールの最新版をダウンロードするには、以下のサイトをご確認ください：  
<http://www.syride.com/en/software>
2. サイトの指示に従って、パソコンにインストールします。
3. インストールすると、タスクバーにアイコンが表示されます。  
バリオ本体が接続されていることを検知します。
4. お使いのOSに合わせて自動的に起動します。



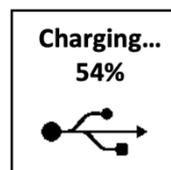
## II. インストゥルメントの配置

1. ライザーへバリオ本体を設置することをシライド社では提案します。  
バリオ裏に付属されている2本のベルクロで、ライザーに設置することができます。  
ロープやプーリーのアクセルシステムを“ロック”しないように注意してください。  
このように設置すると、フライト中は見やすく快適にバリオを操作することができます。  
**ベルクロとライザーの間に保護材を挟み、ライザーの磨耗を防ぐことをお勧めします。**
2. 付属されているベルクロは、コックピットや手首に装着することも可能です。
3. 付属のストラップを使ってバリオ本体を固定することができます。



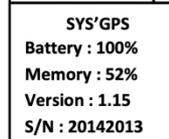
### III. バッテリーの充電について

1. バリオ本体のUSBをパソコンに接続するだけ。  
ライトで正しい読み込みを表示します。
2. 付属されているUSB接続をすると、バリオ本体の画面が切り替わり、「充電中...」と充電の割合が表示されます。  
充電を完了するには、2時間必要です。
3. 充電を停止するには、USBを取り外します。  
バリオ本体はリチウムイオン電池を搭載しており、メモリー効果はありません。
4. 機器が起動すると、バッテリーアイコンが安定するまでに10秒かかります。

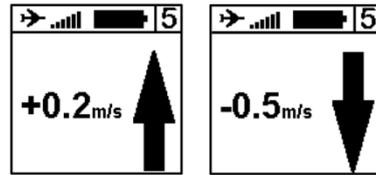


### IV. デバイスの設定

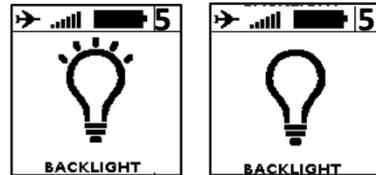
1. 中央のボタンを押すと、あなたのインストールを使用します。
2. 左右のボタンで5番目の画面に移動し、中央のボタンで確定します。  
画面右上にその画面の番号が表示されます。
3. 最初の画面では、お使いのバリオ本体に関する情報が表示されます。  
バッテリー容量、メモリー容量、現在のバージョン、シリアルナンバー。
4. 次の画面では、音量を設定することができます。



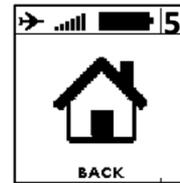
5. 次の2つの画面では、バリオの上昇音の鳴り出しと下降音の鳴り出しの設定になります。



6. 次の画面では、測定器のバックライトのON/OFFを切り替えることができます。  
注意：バックライトは、計器のバッテリー消費が早くなります。



7. 最後の画面はメイン画面に戻ります。#1



## V. 詳細設定

SYS PC Toolでデバイスをコンピューターに接続すると、高度な設定にアクセスできるようになります。

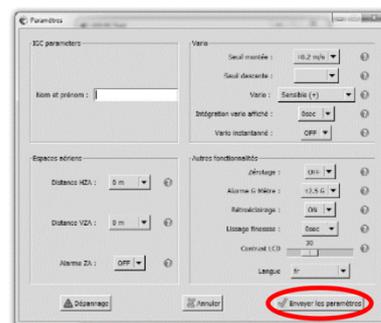
できます：

- Gメーターをもとにセキュリティアラームを調整する。
- バリオの昇降率の平均値を出すためのフィルタリング時間を変更する。
- ご使用の機器の単位と言語を選択します。
- バリオ本体の内部で変更可能なセットアップを変更します。

これらの機能の説明は、こちらで説明しています。: <https://www.syride.com/en/support>

このために：

- 1) バリオ本体の電源を入れ、パソコンと接続する。
- 2) SYS PC Toolから、「configure my instrument」アイコンをクリックします。
- 3) 好きなように変えてみてください。
- 4) 「Send parameters」をクリックします。



## VI. 画面とバリオサウンドをカスタマイズする

SYS'GPSでは、画面 1 と 2、そしてバリオサウンドをフルカスタマイズすることが可能です！

画面をカスタマイズするには(動画:<https://www.youtube.com/watch?v=D3lfZWIS13M>):

- 1) Go to : <http://www.syride.com/en/ssctool/GPS>
- 2) フォントサイズや単位が設定されている項目を選択し、画面にドラッグ & ドロップすることで、画面をカスタマイズできます。
- 3) 設定ファイルをパソコンにダウンロードする。
- 4) バリオ本体の電源を入れ、パソコンに接続します。
- 5) SYS PC Toolで「Send a file to my Instrument」アイコンをクリックします。
- 6) 先ほどダウンロードした設定ファイルを選択します。バリオ本体の接続を解除して完了です。



バリオサウンドのセットアップも同じ原理で、ここに従ってください:<https://www.syride.com/en/variosetup>

## VII. 地形データ読み取り地上の高さ設定

SYS'GPSは、地形データによって地面からの高さを知ることができます。2000年にエンデバー宇宙シャトルで実現したシャトルレーダートポグラフィミッションにより記録されました。(see [http://en.wikipedia.org/wiki/Shuttle\\_Radar\\_Topography\\_Mission](http://en.wikipedia.org/wiki/Shuttle_Radar_Topography_Mission)).

地形データを機器に取り込むには：

- 1) 専用のページにアクセスする必要があります:<https://www.syride.com/en/topography>
- 2) その後、選択したフライトエリアに赤い長方形を移動させ、データをダウンロードします。
- 3) バリオ本体の電源を入れ、USBケーブルで接続します。
- 4) 次に、SYS PCツールで、「Send a file to my instrument」アイコンをクリックし、そして、以前にダウンロードしたファイルを選択します。
- 5) ファイルのアップロードが終了するまで待ち、バリオ本体を再起動します。

注意: 地上からの高さは、±20mの精度にGPSの精度(数m)を加えたものです。



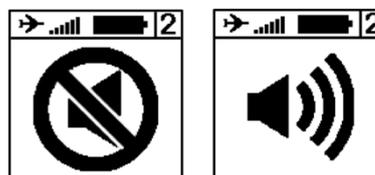
地上高を表示するには、画面設定(前章参照)にこの情報が含まれていることと、GPSの受信が必要です。

## VIII. 飛行中の画面設定

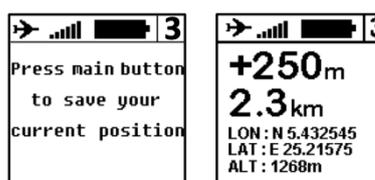
1. 画面#1、#2には、前回選択した情報が表示されます。



2. 中央のボタンを押すと、バリオの音がOFF/ONになります。トランジションや着陸時に集中したいときに便利です。



3. 画面#3の中央ボタンを押すと、現在のGPS位置が保存されます。画面#3には、この地点からの距離とゲインが表示されます。



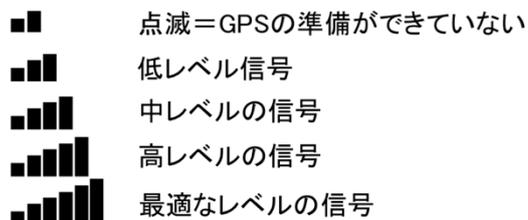
## IX. GPSの状態についての情報

長い間操作していなかったり、地理的な位置が大きく変化した後のGPS修正には、最大で10分以上かかることがあります。

最初のGPSフィックスを容易にするために、屋外にいることをお勧めします。

離陸する数分前には、GPSが固定されるまで、バリオ本体の電源を入れることをお勧めします。

1. GPSの状態は、画面中央上部にあるバーグラフで表示されます:



2. 画面左上の飛行機アイコンは、フライトが記録されているかどうかを示します。飛行中はバリオが自動的に検知します。注意: 飛行機アイコンに×が入っていると、メモリ容量が無く記録できていません。



## X. フライト記録の表示と削除

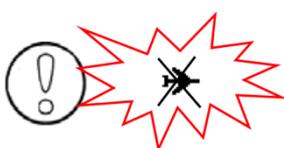
1. 画面#4に移動し、中央のボタンを押すとフライト記録リストに入ります。
2. 記録されたすべてのフライトと、そのフライトに関する情報を見ることができます。
3. フライト記録を削除する場合は、中央のボタンを押し、操作を求められたら確認してください。
4. “BACK”を押してメインフライト画面に戻る。



## XI. 警告およびリセット



このような場合は、バリオ本体のメモリーがいっぱいになっているか、もしくは、バッテリーの充電が十分かどうかを確認してください。



フライトの破損を防ぐため、バッテリーの残量が少なくなった場合、またはメモリーがほぼ一杯になった場合にこの警告が表示されます。計器は自動的にフライトの記録を停止します。これは、画面左上の飛行機アイコンが×字で点滅しているときに表示されます。



Gメーターがアドバンスドパラメーターで選択した値（初期値は2.5g）を超えると、ノイズの多いサウンドが作動します。サウンドをオフにしている場合でも作動します。



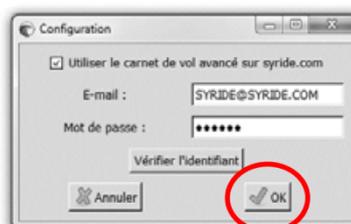
もし、バリオ本体が動かなくなった(ボタンに反応しなくなった、画面が固まった等)場合は、USBケーブルでパソコンに接続し、SYS PC ツールに繋げ、バリオ本体裏(左図箇所)の穴に針を刺してリセットボタンを押します。USBは接続したままで行います。

## XII. フライト記録をPCへ移行

1. パソコンにSYS-PC-Toolというソフトウェアがインストールされていることを確認すること。  
<https://www.syride.com/en/software>
2. 電源を入れ、USBケーブルでSYS-PC-Toolとバリオ本体と接続します。  
付属されているUSBケーブルを使用してください。
3. アカウント設定のアイコンをクリックします。



4. IGC/GPX と KML ファイルは、お使いのコンピュータにシステム的に複製されます。  
「syride.com」の高度なフライトアナライザーを使用するには、シライドアカウント登録が必要です。そして、Eメールとパスワードを入力する必要があります。  
フライトのアップロードに「Use the advanced logbook from Syride.com」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックしてください。  
<http://www.syride.com> にて、アカウント登録できます。



5. バリオ本体に記録されたフライト記録をダウンロード方法は、右図の赤丸アイコンを押すと、フライト記録がバリオ本体からコンピュータへとオンラインフライトブックに送信されます。  
ファイル/ローカルディレクトリを開くをクリックすると、コンピュータ上のファイルにアクセスすることができます。



6. 赤ペンでフライト情報(名前、使用グライダー、テイクオフサイト、フライトタイプなど)を修正し、緑の矢印で修正内容を確認することができます。



7. あなたのフライトトラックを見るには、写真をクリックしてください。

8. 右上の目のアイコンをクリックすると、シライドのコミュニティから自分のフライトを見えなくすることができます。  
あなたのプロフィールに残りますが、シライドのユーザーには見えません。





## XIV. 使用上の注意点

- フライトの準備中に計器の電源を入れ、GPSのフィックスを確認してからフライトを開始することをお勧めします。
- 飛行中にバリオ本体を固定するために、ストラップを使用してください。
- 無線機等のアンテナからの電磁波の擾乱は、GPS信号を妨害する可能性があります。
- SYS'GPSが非常に熱く、非常に冷たい空気の中で飛行した場合、画面に霧が出ることがあります。これは数分以内に消散します。
- バックライトは必要な場合のみ使用してください。そうでない場合は、バッテリー充電が著しく低下します。
- SYS PC Tool(設定アイコン→Repairボタン)からファクトリーリセットすることで、あなたのバリオ本体が初期状態に戻ります(記録されたフライトはすべて削除されます)。
- USB充電器に接続すると、バリオ本体の電源がオフの状態でも充電が開始されます。

## 注意事項

重要: 安全に関するお知らせとご注意

### SYS'GPS使用上の注意事項

SYS'GPSは精密機器ですので、厳しい環境条件に放置しないよう注意してください。定期的に柔らかい布で掃除して、バリオ本体のお手入れをしましょう。  
バリオ本体を開けないでください。ネジは、ユニットの密閉性を保証する一定の程度で締め付けられています。このような行為は、保証を取り消すこととなります。  
もし不注意でバリオ本体に水が入った場合は、USBキャッシュを開けて換気し、乾くまで待ってから点灯してください。高温や低温にさらさないでください。置物として日光に当てたり、冷凍庫に入れたりするのは避けてください！南極でのソアリングは保証外です。  
フライトする前は、製品がしっかりと固定されていることを確認してください。フライト中(離陸も含む)の製品の紛失については、シライドは責任を負いかねます。  
シライド社では、パイロットからのフィードバックを重視しています。特に機器の反応に改良点がある場合は、お気軽にお知らせください。

### バッテリー

バリオ本体は、リチウムイオン電池を使用しています。  
50° C (120° F)を超える温度にさらさないでください。  
SYSは、機能中に50° C (120° F)以上の温度を検出した場合、警告を発します。火災、爆発、火傷の危険性が出てきます。  
バッテリーから液体が漏れて接触した場合は、水で十分に洗浄し、すぐに医師の診断を受けてください。  
安全上の理由とバッテリーの寿命を延ばすために、充電は周囲温度範囲内で行うことができます。  
温度です: 標準的な動作: 0° C (32° F) ~ +45° C (113° F) 短期保管: -20° C (-4° F) ~ 60° C (140° F) 保管長期: -20° C (-4° F) ~ 25° C (77° F)。  
電池の交換はできませんので、電池を取り出さないでください。電池に問題がある場合は、Syrideサポートにご連絡ください。



### 電池および電気・電子機器の回収・廃棄に関する注意

このバリオ本体に使用されているリチウムイオン電池および電子回路は、一般家庭ゴミとして破棄せず、各自治体の定めに応じた適切なリサイクルにご協力ください。

付属されているUSBケーブル (規格: 5V DC 500mA) 以外のもので充電しないでください。

### GPS (Global positioning System)

GPSは、アメリカ合衆国政府が管理する全地球測位システム衛星です。シライドは、GPSの利用可能性や精度について責任を負いません

### CEマーク

このバリオ本体は、ヨーロッパ諸国で必要とされる、住居用、商用、および軽工業用のCEマークの基準に合致しています。

### この取扱説明書について

この取扱説明書の作成には十分に注意していますが、製品の改良に伴う情報の更新が反映されていない場合があります。この取扱説明書の内容は予告なく変更されます。シライド社はこの取扱説明書の内容あるいはその使用に起因する事故、あるいは結果として発生した損害において、この取扱説明書の内容における脱落や技術的、あるいは編集上の誤りに対しても責任を負うものではありません。

**SYS-GPS とともに、素晴らしいフライトをお楽しみください！**



[www.syride.com](http://www.syride.com)



**Sports Opa Kite**

**SINCE 1977**